



施策・事務事業マネジメントシート【令和8年度】

1 施策の基本情報(Plan)

施策名		19 魅力ある観光の振興
目的	対象	市民、来訪者
	意図	市民がまちに愛着と誇りを持つ 多くの来訪者が市内を回遊する
施策の方向		「古刹・深大寺」、「映画のまち調布」、「水木マンガの生まれた街 調布」などの地域資源を磨き上げるとともに、多様な主体と連携し、市内外に向けて調布ならではの魅力を効果的にPRすることで、多くの人々が訪れるにぎわいのあるまちを目指します。

2-1 施策全体の考察①（施策の目的、方向に対する考察）

施策の目的、方向に対する考察（PDCAサイクルにおけるCheck・Action）

・「多様な主体との連携による地域資源を活用したにぎわいの創出」については、観光協会をはじめとする多様な主体との連携を通じて、深大寺や神代植物公園、「映画のまち調布」、「水木マンガの生まれた街 調布」、「近藤勇生誕の地」などの地域資源の魅力発信により、調布市のPR及び集客につなげることができた。令和7年度は、市制施行70周年事業として、観光協会と連携し、観光・グルメ冊子「調布 Viva!Bravo!!」を発行した。引き続き、効果的な魅力発信を通じて、にぎわいの創出に取り組んでいく。

・「『映画のまち調布』の推進」については、映画・映像関連企業や市民団体と連携しながら、「高校生フィルムコンテスト」や「みんなのワークショップ」など映画・映像を「つくる」、「楽しむ」、「学ぶ」をテーマとした、世代に合わせた調布ならではの取組を通じて、まちの魅力向上につなげた。今後も、市内に映画・映像関連企業が多く集積する特性を生かし、「映画のまち調布」の取組の更なる発展を目指す。

・「水木マンガの生まれた街 調布」の推進については、「ゲゲゲの鬼太郎」の取組を中心に、名誉市民・水木しげる氏の作品や著作に触れる機会の創出に注力することで、子どもから大人まで幅広い世代に興味を持っていただく機会の創出を図った。令和7年度は、市制施行70周年とゲゲゲの鬼太郎10回を記念し、市内協力店舗での買い物金額に応じて配布するオリジナルノベルティを作成し、地域経済の活性化にもつなげた。今後も、多様な主体と連携した「水木マンガの生まれた街 調布」ならではの取組を通じ、まちの魅力向上につなげていく。

・本施策の課題としては、個々の地域資源におけるPRや集客力はあるものの、それらの連動性が低いことが挙げられるため、来訪者が様々な地域資源を回遊し、楽しんでいただける仕組みづくりが今後必要である。

2-2 施策全体の考察②（まちづくり指標の推移／考察）

まちづくり指標	単位	基準値 (基準年度)	実績値 (目標年度)			目標値	指標の推移	考察 (目標達成の要因、課題、目標達成に向けた今後の取組の方向等)
			(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)			
観光案内所への来所者数	人	2万8068 令和3年度	7万1518	6万8449	8万5878	10万 令和8年度	○	・令和6年度に比べ1万7429人の増となった。深大寺及び神代植物公園は来場者数が伸びており、それに伴い観光案内所の来所者数も増加している。今後も深大寺をはじめとする地域資源の魅力発信を通じて来所者数の増加を図る。
「映画のまち調布」を進める取組に満足している市民の割合	%	76.6 令和4年度	79.5	80.6	84.9	80.0 令和8年度	◎	・令和6年度に比べ4.3ポイント上昇した。フィルムコミッション事業や「映画のまち調布 シネマフェスティバル」などの調布ならではの取組の推進によるもの。
数々の水木作品が調布市で生み出されたことを認知している市民の割合	%	96.5 令和4年度	95.7	96	95.8	98.5 令和8年度	▼	・令和6年度に比べ0.2ポイント減少した。ゲゲゲの鬼太郎をはじめ「水木マンガの生まれた街 調布」の推進に向けた取組を通して、認知度の安定化を図る。

※ ◎：目標達成 ○：目標値を未達成（前年度より向上した） ▼：目標値を未達成（前年度より低下した） ⇒：目標値を未達成（前年度と同じ又は前年度数値未把握） -：数値未把握（調査未実施など）

3 施策を構成する基本計画事業等の取組実績／今後の方向

■19-1 多様な主体との連携による地域資源を活用したにぎわいの創出

No	基本計画事業名	令和7年度取組実績(Check)	令和7年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
63	調布市観光協会事業の促進	☒ 計画どおり ☐ 計画前倒し ☐ 計画遅れ	・観光協会の運営支援（観光協会との連携）	☐ 現状継続 ☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☒ 財政面改善 ☐ 参加と協働改善	・魅力的な地域資源の活用を通じて、調布の効果的なPRにつなげていく視点の下、既存の事業の見直しを図り、一層の成果向上やサービス向上に取り組む。 ・多言語版の観光マップやWi-Fiの整備など外国人観光客の受入環境整備を支援する。 ・法人化を含めた観光協会の体制強化に向けた支援に取り組む。

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)	今後の取組の方向(Action)
①第40回調布花火の開催（市：共催） ②調布市制施行70周年記念式典と運動したイベントの実施	①会場の収容能力が限界に近付いていることや、天候のリスクが高い中洲での打上げなど、安全面や環境面の課題が多い。また、物価高騰の影響も大きく、運営資金の確保も年々厳しくなっていることから、今後の開催方法の見直しを視野に入れた検討が必要である。

■19-2 「映画のまち調布」の推進

No	基本計画事業名	令和7年度取組実績(Check)	令和7年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
64	【重点④】 「映画のまち調布」の推進	☒ 計画どおり ☐ 計画前倒し ☐ 計画遅れ	・フィルムコミッション事業の推進 ・ロケツーリズムの推進 ・世代に合わせた、映画・映像関連イベントの実施 ・映画・映像に関する地域資源を活用した「映画のまち調布」のPR	☐ 現状継続 ☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 財政面改善 ☒ 参加と協働改善	・フィルムコミッション事業については、撮影事業者からの問合せ件数が年間500件を超える実績があるため、過去のロケ対応が良好な事業者の選別や、調布のPRに効果的な作品の受入れなど、質の向上を目指していく。 ・ロケツーリズムの推進については、調布市への集客の向上を図るため、ロケ実績の効果的な活用方法を検討し、実施につなげていく。 ・既存の取組の見直し・改善をするとともに、「映画のまち調布」ならではの新たな取組の検討を進めていく。

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)	今後の取組の方向(Action)

■19-3 「水木マンガの生まれた街 調布」の推進

No	基本計画事業名	令和7年度取組実績(Check)	令和7年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
65	【重点④】 「水木マンガの生まれた街 調布」の推進	☒ 計画どおり ☐ 計画前倒し ☐ 計画遅れ	・関連企業等と連携した「ゲゲゲ忌」をはじめとする取組 ・水木キャラクターを活用した「水木マンガの生まれた街 調布」の推進 ・アニメコンテンツを活用したアニメ聖地としての取組	☐ 現状継続 ☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 財政面改善 ☒ 参加と協働改善	・水木氏の作品や世界観を後世に伝えつつ、まちづくりに生かす取組を推進していく。 ・鉄道敷地跡地「水木しげるゾーン」を有効活用し、魅力向上・発信につなげる。 ・商店会など地域と連携した取組を推進することで、地域経済の活性化につなげていく。

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)	今後の取組の方向(Action)
①調布市制施行70周年とゲゲゲ忌10回を記念したオリジナルノベルティの作成	①オリジナルノベルティは、市内の協力店舗での買い物金額に応じた配布としたことで、調布駅周辺のみならず、他地域の店舗への誘客、地域経済の活性化につなげることができた。今後も、ゲゲゲ忌で調布を訪れた方の回遊や地域経済の活性化につなげられる取組を検討していく。

4 施策の推進、成果向上の視点（4つの視点）を踏まえた令和7年度の実績及び令和8年度の具体的な取組

デジタル技術の活用	共創のまちづくり
・SNSなどデジタル技術を活用し、市の魅力や観光情報を効果的に発信することで、集客・回遊・消費の好循環サイクルの創出を図る。【令和7年度・8年度】	・調布市観光協会のほか、深大寺、映画・映像関連企業、水木プロダクション等と連携し、地域の魅力を高める取組を検討・推進する。【令和7年度・8年度】 ・市内事業者や調布市に関係する企業等と連携した、ふるさと納税の返礼を通じて、市や市内事業者の魅力発信に取り組む。【令和7年度・8年度】
脱炭素社会の実現	フェーズフリー
・二酸化炭素排出量が少ない環境にやさしい移動手段として、シェアサイクルの普及啓発に取り組むとともに、シェアサイクルを含む自転車を利用した市内回遊の促進に取り組む。【令和7年度・8年度】	・調布市観光協会と連携し、テントなどのイベント用機材・備品類を、災害時にも避難所等で活用できるよう、体制整備や対応マニュアルの策定等に取り組む。【令和8年度】